

2006年10月30日～11月5日、第1回インターネット・ガバナンス・フォーラム(IGF)がギリシャのアテネにおいて開催された。IGFは国連によって設置され、インターネットの運営(ガバナンス)を世界規模で議論する最も重要な国際会議といえる。会議は公開で参加は自由である。ここでの議論の目的は何らかの決議を得ることではなく、インターネット上に存在する様々な文化的な衝突について関係者が理解を深めることである。これまでのインターネットの発展は比較的自由的な運営によって支えられてきたが、世界規模での利用が進むとともにそのガバナンスのあり方が課題となってきた。今回のIGFでは、インターネットの開放性、安全性、多様性および可用性について様々な角度から議論された。IGFは、今後は毎年開催されることになっている。

## トピックス 2 第1回世界インターネット・ガバナンス・フォーラム開催

国連による第1回のインターネット・ガバナンス・フォーラム(IGF: The Internet Governance Forum)がギリシャのアテネにおいて2006年10月30日から11月5日まで、世界中からのべ数千人の参加者を集めて開催された<sup>1)</sup>。

IGFは、インターネットの将来像を検討するために国連によって設置された会議であり、インターネットの運営を世界規模で議論する最も重要な国際会議であるといえる。

これまで国連は、2003年12月にジュネーブで第1回の「世界情報社会サミット(W SIS: World Summit on the Information Society)」を、続いて2005年11月に北アフリカのチュニジア共和国チュニスにおいて第2回のW SISを開催している<sup>2,4)</sup>。今回のIGFは、チュニスでの会合の成果を踏まえて設置が決まり、第1回の会合がアテネで開かれる運びとなった。

IGFは、インターネットの運営に関して何らかの議決や意思決定を行うのではなく、あくまで議論の場を提供する。インターネットの将来像に関心のある人々が一同に介し、運営に関する課題を話し合い、共通の認識を得る機会を作ることが会議の目的である。会議を主催する組織の代表であるNitin Desai氏は、英国BBCのインタビューに答えて、「世界中のネット上の市民に発言の機会を提供し、ルールに基づいて議論すべき課題を明確にする」と述べている<sup>3)</sup>。今回の会議には、各国政府、民間組織、非営利組織から個人まで幅広い層からの参加があった。

会議は、「開放性(Openness)」、「安全性(Security)」、「多様性(Diversity)」、および「可用性(Access)」に

関する四つの分科会に分かれて議論が行われた。開放性に関しては、主に、言論の自由に関する問題が議論された。セキュリティに関しては、スパムメールやフィッシング、ウイルスといった障害が存在する中で、いかに利用者を守るのかという問題が議論された。例えば、スパムメールに関しては、これをブロックするソフトウェアが開発されているが、こうしたソフトウェアによってある種の情報が意図的に制御されてしまうのではないかという危惧も挙げられた。多様性に関する大きな課題は、現在のインターネットがあまりにも英語を利用することに傾倒している問題が挙げられた。アクセスでは、ネットワークの「ドメイン」の運営がこれまで無制限であったことに関して問題提起され、国によっては制限が必要であると主張された。

これまでのインターネットの発展は比較的自由的な運営によって支えられてきたが、世界規模での利用が進むとともにそのガバナンスのあり方が課題となってきている。現在、インターネットのトップドメインとルートサーバを管理するのは、米国の非営利機関であるICANN(Internet Corporation for Assigned Names and Numbers)である。EUや中国、ブラジルなどは、インターネットのガバナンスの根幹をなすドメイン管理を国際機関に委ねることを主張してきた。ICANNのインターネット・ドメインネーム管理部門のEmily Taylor氏は、IGFの場でこうした問題について議論できたことは大きな進展であると評価している。

IGFは引き続き年次開催され、2007年にはブラジル、2008年にはインド、2009年にはエジプトが開催国に決まっている。

参考: 1) 世界情報社会サミットのホームページ <http://www.itu.int/wsis/>

2) インターネット・ガバナンス・フォーラムのホームページ <http://www.intgovforum.org/index.htm>

3) BBC ワールドサービス <http://www.bbc.co.uk/worldservice/>

4) 「第2回世界情報社会サミット(W SIS)が開催された」、科学技術動向2005年12月号